

## 「怒る」「叱る」「伝える」は同じ？

子どもを注意する場合、「怒る」と「叱る」は違うものと言われます。激しい感情のまま言葉を発してしまう「怒る」に対して、「叱る」は感情的にならず冷静な言葉で注意することとされます。一方で、「怒る」も「叱る」も同じような言葉として捉えられることもありますし、「叱ることはよい＝言葉で言うことを聞かせてもよい」と短絡的に考えてしまうこともあります。

そのため、本当に子どもに届けたい思いは何なのか、立ち止まって考えてみることも大切です。子どもが受け止められるよう気持ちを考えた上で、保護者の思いをうまく伝えることが本当の意味での意思の疎通になります。

「怒る」や「叱る」のではなく、うまく「伝える」ことを心がけてみてはどうでしょうか。



引用：三重県・三重県教育委員会/みえの親スマイルワーク  
<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000722401.pdf> (参照 R6.1.19)

## 注意の仕方のポイントは？

- ① 深呼吸し、感情を落ち着かせてから冷静に
- ② 何がよくないのか、どうするとよいかを考えさせる

みんなが困っているよ。  
 どうしてなのか分かっているかな？



- ③ きょうだいも含め、他の人と比べない
- ④ 短く、プラスの表現で  
 例) マイナス「～しちゃだめ！」→プラス「～しよう」  
 マイナス「走ってはだめ！」→プラス「歩きましょう」
- ⑤ 親や周りの人の気持ちを伝える  
 例) マイナス「あなたは、遅くまでどこへ遊びに行っていたの！」  
 →プラス「私は、何かあったのかと思って心配したよ。」

注意してよくなった時を逃さずほめたり、大人が手本を示したりすることも大切です。

～できるようになったね。  
 やればできる！  
 お母さんうれしいな。

